

福祉教育で変わる、福祉教育が変わる

～誰も排除しない地域づくりのために～

1 趣旨

地域や家庭でのつながりが薄れるなか、子どもの貧困・ニート・ひきこもり・孤立死・ホームレス・東日本大震災の影響などの様々な福祉課題・地域課題やそれに伴う社会的排除のリスクが高まり、その構造と要因を克服する政策的な対応としての「社会的包摂」が盛んに言われるようになってきている。本年度秋には生活困窮者対策に総合的に取り組むための「生活支援戦略（仮称）」も策定されようとしている。こうした状況の中、私たちがこれまで実践し培ってきた福祉教育はどこまでこれらの課題の解決に挑戦し、共生文化の創造にどれだけ寄与できるかが問われているのではないだろうか。

福祉教育で地域が変わる。しかしどれだけ福祉教育に力を注いでもなお、地域に残る軋轢や葛藤、「総論賛成・各論反対」の壁。その壁にあたった時、福祉教育を推進する者として思わず無力感を感じることもある。反面、私たちは本当に真剣に地域の福祉課題に向き合い、とりあげてきたのかと省みる。

福祉教育が変わらなければならないこと。そして変わってはならない福祉教育の価値。

新しい福祉課題・生活課題に挑戦してきた福祉教育の展開を考えた時に、今あらためて重要となる視点を研究協議していく。

2 期日：平成24年8月8日（水）～9日（木）（8日13:00～開会、9日15:00 閉会）

3 主催：社会福祉法人 全国社会福祉協議会

共催：日本福祉教育・ボランティア学習学会

4 後援：厚生労働省、文部科学省（予定）

5 会場：全国社会福祉協議会 5階会議室 / 灘尾ホール

〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

03-3581-4656（全社協 全国ボランティア・市民活動振興センター）

6 対象：

学校・教育関係者（教育委員会職員、教育行政関係者、特別支援学級等教職員、学校役職員 など）
福祉教育推進・支援者（社協職員、福祉施設職員、民生委員・児童委員、NPO、学習サポーター、地域福祉関係者など）

日本福祉教育・ボランティア学習学会会員、大学生、院生、その他参加を希望する者

7 定員：200名

8 参加申込期限：7月27日（金）まで ただし、定員に達するまで受け付けします。

9 参加費：セミナー参加費 8,000円（大学生・院生 4,000円）

情報交換会 1,000円

～特別企画～

「福祉教育開発教材（読本・DVD・ワークブック・プログラム集他）大募集！！」

社協や学校、団体などで作成した福祉教育の教材を展示するコーナーを設けます。

エントリーされる方は、参加申し込みの際に合わせてお申し出ください。

（エントリーはセミナー参加者が、当日ご持参いただくものに限らせていただきます）

第1日目 8月8日(水)	
12:30 ~ 13:00	受付(会場:全社協 第3・4・5会議室)
13:00 ~ 13:15	開会(会場:全社協 第3・4・5会議室) あいさつ 全国社会福祉協議会 全国ボランティア・市民活動振興センター 所長 野崎吉康
13:15 ~ 13:45	行政報告 「社会的包摂に関連する施策について」 厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 地域福祉専門官 中島修氏
13:45 ~ 14:15	行政報告 「(仮)学校・家庭・地域との連携・協力について」 文部科学省 (調整中)
14:15 ~ 15:15	<p>基調講演 (会場:全社協 第3・4・5会議室)</p> <p>「福祉教育で変わる、福祉教育が変わる ~誰も排除しない地域づくりのために~</p> <p>講師 上野谷加代子 氏(同志社大学社会学部教授/ 日本福祉教育・ボランティア学習学会会長)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>社会的包摂の必要性が広く注目されるようになっている。この社会的包摂のなかで、大切にしなければならない視点、実践のポイントなどを明らかにしながら、その際に福祉教育の果たせる役割は何か、そのために福祉教育はどう変わらなければならないかを考える。</p> </div>
15:15 ~ 15:30	休憩
15:30 ~ 17:30	<p>シンポジウム (会場:全社協 第3・4・5会議室)</p> <p>「いのちを伝える ~社会的包摂と福祉教育~」</p> <p>コーディネーター 原田正樹氏(日本福祉大学学長補佐/ 日本福祉教育・ボランティア学習学会副会長)</p> <p>シンポジスト 後藤 浩二氏(東京都・スープの会世話人)</p> <p>シンポジスト 加藤 タケ子氏(熊本県水俣市・社会福祉法人さかえの杜 ほっとはうす施設長)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>地域のなかでお互いに支え合い、共生できる地域を創り出すための福祉教育を、どう展開していくかが今日的なテーマである。</p> <p>水俣の「ほっとはうす」では、水俣について胎児性患者の人たちが子どもたちに語りかける。スープの会ではホームレスと子どもも含めた地域の人に関わる場づくりをしてきた。どちらも生きていることの素晴らしさを伝えるとともに、その人をおして地域課題をとらえていく。</p> <p>こうした活動を通して、「いのちを伝える」という福祉教育の原点を問い直し、改めて福祉教育の本質を考える。</p> </div>
17:45 ~ 19:15	情報交換会(会場:全社協・第1・2会議室)

第2日目 8月9日(木)	
9:00～12:00	<p>分科会 第1分科会 「今の福祉教育、地域の課題に向き合っていますか ～教室だけで終わらない福祉教育が地域を創る～ (会場：全社協・第1・2会議室)</p> <p>進行 菱沼幹男氏(日本社会事業大学社会福祉学部専任講師) 報告者 大石浩之氏(大阪市立山之内小学校校長) 奥井史朗氏(大阪市山之内地域 山之内スマイル協議会会長)</p> <p>福祉教育はどれだけ実生活と結びついているだろうか。子どもたちが自分たちの暮らす地域で起きている問題に関心を持ち、その解決に向かって行動していく力を育てていくための福祉教育プログラムについて事例を通して考える。</p> <p>第2分科会 「防災・減災を切り口とした福祉教育とは ～地域と学校が協働して取り組むHUG事例から考える～」 (会場：全社協・第3・4会議室)</p> <p>進行 野尻紀恵氏(日本福祉大学社会福祉学部准教授) 報告者 水野尚美氏(NPO法人共育ネットはんだ理事長) 森下幸恵氏(愛知県半田市亀崎自主防災会幹事) 松本涼子氏(愛知県半田市社会福祉協議会)</p> <p>各地で防災教育が広がってきているなか、あらためて防災教育を福祉の視点で眺め、防災・減災を切り口とした福祉教育について事例を通して考える。</p> <p>第3分科会 「社協の力を活かすための福祉教育プログラムとは ～都道府県社協における福祉教育推進方策について～」 (会場：全社協・第6・7会議室)</p> <p>進行 牧野郁子氏(埼玉県鶴ヶ島市社会福祉協議会) 講師 原田正樹氏(日本福祉大学学長補佐/ 日本福祉教育・ボランティア学習学会副会長)</p> <p>地域福祉教育推進における都道府県・政令指定都市社協の役割について、調査結果をもとに都道府県レベルでの福祉教育展開プログラムについて考える。</p>
12:00～13:00	休憩・移動
13:00～15:00	<p>総括シンポジウム (会場：全社協・灘尾ホール) 「福祉教育はどこまで地域を変えられるのか ～そして私たちはどう変わるのか～」</p> <p>コーディネーター 原田正樹氏(日本福祉大学学長補佐/ 日本福祉教育・ボランティア学習学会副会長)</p> <p>第1分科会 軸丸政代氏(大阪市住吉区社会福祉協議会) 第2分科会 水野尚美氏(NPO法人共育ネットはんだ) 第3分科会 牧野郁子氏(埼玉県鶴ヶ島市社会福祉協議会)</p> <p>各分科会の討議をふまえて、福祉教育に関わる私たちは具体的に何をどう変えていくのか、明日からの実践にどう結び付けていくのかを考える。</p>

分科会について

会場の都合により、分科会ごとにご参加いただける人数の制限がありますので、申込書には必ず、第二希望までご記入ください。申し込み状況によっては、第二希望の分科会に振り分けさせていただく場合があることをあらかじめご了承ください。なお、第一希望ではない分科会に入らせていただく場合は、開催1週間前までにご通知します。

内容に関する問合せ先：

内容に関する問合せ先

全国社会福祉協議会・全国ボランティア・市民活動振興センター

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

電話：03-3581-4656 FAX：03-3581-7858 eメール：vc00000@shakyo.or.jp

<http://www.zcwvc.net/>（申込書のダウンロードもできます）

参加申込先方法、申込等に関する問合せ先：

別添「参加・宿泊・情報交換会のご案内」をご参照のうえ、所定の申込用紙に必要事項をご記入いただき、名鉄観光サービス㈱に郵送または FAX にて送付ください。宿泊等の手配がない場合も申込書は同一様式ですので、必ず名鉄観光サービスに申込書を送付してください。開催 1 週間前までに参加券等が到着しなかった場合には名鉄観光サービスにお問い合わせください。

ウェブサイト(<http://www.zcwvc.net/>)からも開催要綱・申込書をダウンロードできます。また、Email による開催要綱・申込書の請求も可能です (vc00000@shakyo.or.jp)。ただし、いずれの場合も申込書は名鉄観光サービス㈱に郵送あるいはFAXにて送付してください。

参加申込方法・申込等に関する問合せ先

名鉄観光サービス㈱ 新霞が関支店【担当：^{はたの}波多野】

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル L B 階

電話：03-3595-1121 FAX：03-3595-1119

受付時間 平日 9:30～17:30 土日祝祭日休業

個人情報について

申込書等に記載された個人情報については、本セミナーの運営目的にのみ使用します。セミナー資料にはお名前、所属先、役職名の一覧表（名簿）を掲載いたします。

なお、事務取扱を委託する名鉄観光サービス㈱と全国社会福祉協議会は個人情報の取り扱いにかかわる覚書をかかわしています。

会場案内



- ・地下鉄銀座線「虎ノ門駅」5番出口より徒歩5分
- ・地下鉄千代田線/丸の内線/日比谷線 「霞ヶ関駅」A13番出口より徒歩8分

